



野木持ち乗り調教助手とデザートオブムーン



小島友実の あの馬の STORY

デザートオブムーン

クラップノアハート。私は地方競馬で行われる交流重賞を見に行く機会が多いので、この馬のレースはほぼいつも直接見ています。当時の牝馬限定の交流重賞で、同じく常連だったレマーズガールとよく同じレースに出走していましたがね。

そんなクラップノアハートの仔であるデザートオブムーンが母と同じ島山吉宏厩舎から昨年デビュー。まだ未勝利戦を走っているものの、善戦を続けています。

「クラップノアハートの仔はフランスが途中からうちに転厩してきましたし、その下のハーツフラットはデビューから手掛けさせてもらっていたので、その経緯でデザートオブムーンも預からせて頂く事になりました。ハーツは着に来るなご能力があつたのですが小ぶりで頼りない所もあり、結局は骨折してしまい勝たせてあげることが出来ませんでした。でもデザートは一歳の春の段階である程度、馬格があつたし、丈夫な印象でしたね。」

初めて見た時の事をよく振り返る島山師。育成は順調に進み、去年8月に美浦へ入厩。ノート試験にも合格しました。しかし島山師によれば、「まだ芯が入りきっていない印象だった」の事で山元トレンセンへ放牧。10月に再び美

浦へ戻り、12月7日の中山のデビュー戦へ向けて調整が進められました。

「母も中距離のターナー戦で活躍しましたが、この馬もそんな感じの印象。それで中山ターナー8000でデビューとなりました。ただ前半、全然前についていけなくてね。内田博幸騎手が促して促して追い込んだので4着。まだ完全に仕上がっていない中で掲示板に来ましたから能力はあつた感じでした。」

2戦目は新馬戦より少し前目でデビューできたものの3着。直線が長いコースを求め、中京へ遠征した3戦目もそれまでと同様に追い込むも屈かずの3着と、歯痒いレースが続きます。

「前半、流れに乗れるように、4戦目は距離を伸ばして東京のターナー1000に出走しました。このレースから初めてチークビープを着用した効果が先行できましたね。でも最後の伸びが足りなくて5着。レース後はテンションが高い所がある馬なので、セクチアスに放牧へ出しました。母もバドックなどでほんのさき部分があつたので、そういう所は似ていますね。」

3月7日に美浦へ帰厩。担当する野木晴久持ち乗り調教助手は、お母さん、クラップノアハーツフラットも担当していたこの事で、まひたこの家系をよく知る人物。こんな微笑ましいエピソード

下を教えてくれました。

「この前、デザートオブムーンが馬房で寝ている姿を見たら、お母さんかたで寝ていたのでお母さんかたか。性格も似ていて、運動中に音で驚いたり、納得がいかない事は怒ってみたい。ちよつとした草も似ていますね。今までのお姉さん達に比べると、飼料も食べてくれるし調整はしやすいですが、まだ多少、緩い所があるのだから解消されていけば結果は伴ってほしいと思います。こうして親子を担当させてもらえるのは嬉しいですし、凄く有難い経験なので感謝しています。」

中間の調教も順調で3月23日の中山戦に出走したデザートオブムーン。しかし流れに乗れず中団からの競馬となり、直線で追い込むものの5着という結果でした。レース後、島山師は、「状態は悪くなかつたので残念です。やはりまだ芯が入りきっていない所がありそれが解消されればいいのですが、間違いない能力はあるので、早へり勝たせてあげたいです。今後は状態にもよりますが芝のレースも試してみたいと思います。」

勝利を重ねて行ければ、お母さんのように交流レースでの長い活躍も期待できますよね。まずは初勝利の便りが届く事を待ちたいと思います。

profile

グリーンチャンネル「トラックマンTV」(毎週金曜 19:00~20:30)、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」ほか競馬ファンにはお馴染みの顔。平日は地方競馬、週末は中央競馬、そしてプライベートでも競馬三昧の日々を送る。本業のアナウンスのほかにも、競馬ブックのコラム「小島友実の好奇心keiba それいけ現場」の連載など活躍の場を広げている。